

2021年11月30日

オリンパス株式会社
コニカミノルタ株式会社

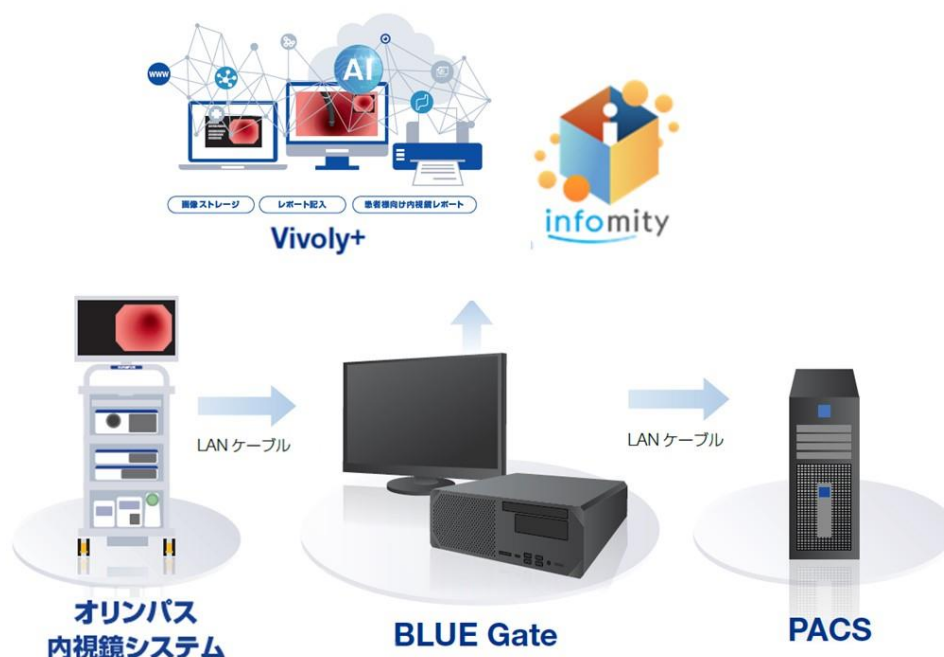
オリンパスとコニカミノルタ 国内クリニック向け画像管理ソリューションとクラウドサービスで協業

オリンパス株式会社（本社：東京都新宿区、社長：竹内 康雄 以下、オリンパス）とコニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山名 昌衛 以下、コニカミノルタ）は、国内クリニック向けの画像管理ソリューションにおいて協業します。オリンパスが提供する内視鏡用クラウドサービス「Vivoly+（ヴィヴォリープラス）^{*1}」への画像送信端末装置として、コニカミノルタ製の「BLUE Gate（ブルーゲート）」を、2021年11月30日にオリンパスの販売網を通じて国内で発売します。この販売を契機に両社のクラウドサービスの強みを活かし、より多くの医療施設のニーズに適した製品を提供します。

【協業について】

近年、医療機関において画像を用いた診療が増加し、さまざまな診療科で用いる画像データを一元管理することが重要となっています。この課題を解決すべく、内視鏡の製造・販売に強みを持つオリンパスと、画像情報のネットワーク化に長けたコニカミノルタが協業しました。両社の持つ製品・サービスを、「BLUE Gate」により連携させることで、シームレスな画像・レポート管理インフラの提供が可能になります。この協業により内視鏡医に最適な画像管理ソリューションを提供し、医師の負担を軽減するだけでなく患者さんへの適切な診断に貢献します。

営業活動においては、オリンパスの国内販売会社であるオリンパスマーケティング株式会社が担い、保守や故障対応などのカスタマーサービスをコニカミノルタの国内販売会社であるコニカミノルタジャパン株式会社が行います。



【医療用画像連携装置「BLUE Gate」について】

「BLUE Gate」は、内視鏡画像を医用画像の国際規格であるDICOM(Digital Imaging and Communications in Medicine)のフォーマットに変換し、クラウド型内視鏡画像・レポート管理ソフトウェア「Vivoly+」およびPACS*2に自動でアップロードする機能を備えた装置です。コニカミノルタが自社製品をオリンパスの要望に沿って仕様変更した製品で、両社の協業が活かされた初めての製品となります。



「BLUE Gate」の利用により、医療現場では内視鏡からのデータを、他のさまざまな検査装置からの画像データと同様にシームレスに扱えるようになり、より効率的なデータ管理が可能となります。また「BLUE Gate」は、AIサポートを備えたクラウド型内視鏡画像・レポート管理ソフトウェア「Vivoly+」の利用端末にもなるため、クリニックのDXにも貢献できるものと考えます。さらに、「BLUE Gate」ユーザーは、医療機関で求められる各種サービスを、ICT技術を通じて安心・安全にお届けするコニカミノルタのクラウドサービス「infomity（インフォミティ）*3」も利用することができ、画像AI解析サービスによる病変の視認性向上、医療機関同士のデータ共有や、外出先の医師とのコミュニケーションなども可能になります。

【オリンパスについて】

オリンパスの内視鏡事業は、1950年に世界で初めてガストロカメラを実用化して以来、革新的な技術と製造技術で医療従事者のみなさまとともに歩んでまいりました。現在では、軟性内視鏡、硬性鏡、ビデオイメージングシステムから、カスタマーソリューション、修理サービスに至るまで、様々な製品・サービスで医療に貢献しています。「早期診断」と「低侵襲治療」という2つの価値を提供することで、世界の人々の健康やQOL（Quality of Life：生活の質）向上に貢献しています。

【コニカミノルタについて】

コニカミノルタは、DR*4やCR*5といったX線画像診断装置や超音波診断装置において高い技術力を持つとともに、それらの診断用画像のデジタル化に不可欠な画像診断ワークステーション「Unitea(ユニティア) α*6」や、PACSを有しています。また、クラウドサービス「infomity」において、診断を支援する画像処理や医療情報の提供、遠隔読影支援やオンライン診療など、数多くのサービスをクリニックに提供し、医療現場のDXを支援しています。

*1：クリニック向け内視鏡画像・レポート管理ソフトウェア（サブスクリプション型）。非医療機器。

オリンパスより2021年11月24日発表（<https://www.olympus.co.jp/news/2021/nr02166.html>）。

*2：PACS(Picture Archiving and Communication Systems)とはDR,CT,MRIといった画像撮影装置（モダリティ）で撮影した画像データを保管・管理するシステムの総称。

*3：コニカミノルタが提供する医療機関の診療を様々なかたちで支援するクラウドサービスプラットフォーム。非医療機器。

*4：Digital Radiography: 照射されたX線をセンサーパネルで受光し、ダイレクトにデジタル画像を得る医療機器の一般名。一般的にCRよりも画質が良く、また即時性に優れる。

*5 : Computed Radiography: 従来のX線フィルムに代わり、イメージング・プレート(IP)上にX線画像を記録し、これを読み取り装置でデジタル画像に変換する医療機器の一般名。

*6 : CR/DRコンソール・PACS・Viewerを一体化した医用画像オールインワンシステム（医療機器）。販売名は「画像診断ワークステーションREGIUS Unitea」。ユーザーは、バージョンアップすることで、「Vivoly+」を既存環境で利用可能。

https://www.konicaminolta.jp/about/release/2013/0110_01_01.html

「BLUE Gate」「Unitea α」は「画像診断ワークステーションREGIUS Unitea（認証番号：225ABBZX00052000）」の販売名を持つ汎用画像診断装置ワークステーション（医療機器）です。

BLUE Gate はオリンパス株式会社が商標申請中です。

REGIUS, Unitea はコニカミノルタ株式会社の商標です。